

## 提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午後】
部 会 名	小学校 生活部会

1. 提案テーマ 「自分アルバム」作りを通した、気づきの質を高める学習活動

2. 単元(題材) 大きくなったね、ぼく・わたし

3. 学年 第2学年

4. 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

②一人ひとりの児童自身の気づきの質を高め、活動や体験を一層充実するための授業展開の工夫・改善

5. 学習指導要領との関連(内容項目)

第2章 第5節 生活 第2 各学年の目標及び内容 [第1学年及び第2学年] 2 内容

(9) 自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分のできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。

6. 実践に向けての課題意識

2年生の児童は、周囲の人に支えられ、日々の生活の大部分を「してもらって」いる。将来的に自立する際は、「人のためにしてあげる自分」に変わってほしいと願っている。本単元は、そのための基礎となると考えた。児童の日々の生活は、保護者の多くの支えによって成り立っている。しかし、児童がそれを意識することは、日常生活の中ではあまりなく、当たり前のことと感じている。自分たちの生活が、保護者や周りの人に見守られ、支えられて成り立っていることに気づき、その背景にある深い愛情に気付くことで、感謝の思いを起こさせたい。深い愛情に気付くことは、日々の生活に安心感をもたらし、もっと成長しようという挑戦のための気持ちの土台となる。その成長の先に、「人のためにしてあげる自分」があると考えた。

7. 実践の概要

最初に、小学校の近くにある、幼稚園に遊びに行くことをきっかけとした。幼稚園児と遊ぶと、自然にお兄さん、お姉さんとして接していた。遊びの体験から、自分が心も身体も大きくなっていることに気付いてほしいと考えた。次に、教室で2年生になってからの自分の成長を振り返った。その中で、2年生になってできるようになったことや成長したことを付箋に書いて可視化し、全体で発表して共有した。さらに、大きくなった今の自分と比べて、生まれたときの様子を知るために、前もって児童に内緒で担任から保護者に依頼しておいた「お家の人から自分に宛てた手紙」を読むという時間を学習の中に設定した。お家の人々の愛情は手紙でも伝わるが、直接話すことでさらに伝わる。成長を振り返り、まわりの人の支えに気付いてほしいと思い、生まれたときから1年生のときのことまで、毎週金曜日に、お家の人とお話することを宿題にした。そして聞いたことや発見などを自分アルバムにまとめた。活動の最後には、3年生理科の見学、6年生の卒業式練習の見学を行い、これからの学校生活に目標と希望をもって、単元を終えた。

8. 成果と課題

- お家の人に心から感謝の気持ちをもつことができた(気づきの質が高まった)。
- 魅力ある題材(お家の人からの手紙)を単元の核に据えたことで、児童の学習意欲を引き出すことができた。
- 様々な家庭環境への配慮に悩んだ。

9. 予想される協議の柱

- 児童の気づきの質を高める指導の手立てと児童の見取りについて